

よい会社をつくろう。よい経営者になろう。よい経営環境をつくろう。

月刊

同友

11 2023
月号

vol.688

MONTHLY COMMUNICATION MAGAZINE DOYU

特集

女性経営者が語る
同友会

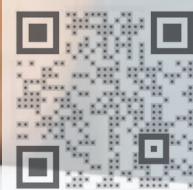
21世紀型
自立型
企業づくり

お客様の期待値を高めるために
～新社屋が物語ること～

もり よし お
森 美朗 氏 (株式会社 リビングデザイン)

福岡県中小企業家同友会

f 広報情報部
Facebook



【デザインQR】

女性経営者が語る同友会

今年度は福岡同友会60周年ということで、60年間の振り返りが一つのテーマになっています。加えて60周年記念事業のひとつとして5月に女性経営者全国交流会（以下：女全交）を開催しました。女全交では「Welcome “CHANGE”」がテーマとして掲げられ、過去最多の900名が集う催しとなりました。

今月の特集では3名の女性経営者に集っていただく座談会を企画しました。各々の視点で福岡同友会の過去を振り返るとともに、未来への展望を語っていただきました。

司会：広報部 南 史聡（西支部） 文・写真：広報部 林田 孝一（ひびき支部）



(株)すこやか工房

光本 智恵子（東支部）



(株)サワダ

花田 理恵（西支部）



(有)タイセイ

笠置 重子（博多支部）

笠置 私は2000年の11月に入会しました。私も経営者になりたてで、どうしていいのかわからなくて、お客様のところへ行くともう全員男性なんです。女性経営者の友達がなくて、同友会には女性の経営者がたくさんいるよって聞いて。

今じゃ言えませんが入会当時はグループ討論が嫌で報告だけ聞いて帰ってました。嫌いというより発表ができなくて、経営者としての熱い思いもなかったし。何人かの先輩方からすごい怒られましたよ。グループ討論あつての同友会やって。

花田 1997年12月に父が亡くなり急に会社を継ぐことになったのですが、経営者とはどうなるものかが全然わかっていませんでした。お金の段取りや管理など、どうしたものかと考えていたところ、愛知の親戚も会社を経営していて「ちゃんと勉強しなきゃ駄目だよ」って同友会のことを教えてくれたんです。加えて取引先であったバルテクネ(株)の鐘川さんが既に会員で、紹介者にもなってくれて入会しました。

まずはそれぞれが同友会に入会したきっかけを教えてください。

同友会 3つの目的

よい会社をつくろう

同友会は、ひろく会員の経験と知識を交流して、企業の自主的近代化と強じんな経営体質をつくることをめざします。

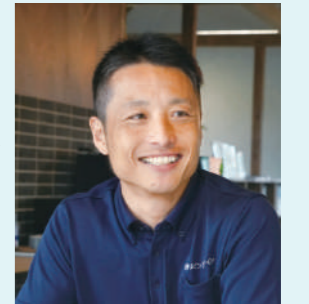
よい経営者になろう

同友会は、中小企業家が自主的な努力によって、相互に資質を高め、知識を吸収し、これからの経営者に要求される総合的な能力を身につけることをめざします。

よい経営環境をつくろう

同友会は、他の中小企業団体とも提携して、中小企業をとりまく社会・経済・政治的な環境を改善し、中小企業の経営を守り安定させ、日本経済の自主的・平和的な繁栄をめざします。

今月の表紙



株式会社リビングデザイン
代表取締役
森 美朗氏（飯塚支部）

詳しくは本誌7ページへ

私が森さんを紹介します！



(有)コンサルティングオフィス
代表取締役社長

重松 和孝（飯塚支部）

森さんは、2015年に創業し、2018年に法人化した住宅や店舗のリノベーション事業を営まれています。森さんは2017年に私が支部長をしているときに共通の知人を通して知り合い、入会いただきました。入会当時より学びに対して貪欲で、一人でも他支部の例会にも参加し、会員の報告を聞いては興味を持ったところにどんどん会社社訪問をしていたのが印象に残っています。いつも明るく笑顔で人と接する森さんの親し

みやすく、積極的に色々な場に飛び込んでいく姿は大きな魅力だなと思っています。仕事面でも取引があり、災害に被災したお客様の建物修繕を何度も依頼していますが、対応が早くお客さまに対しても丁寧に対応していただけるので今では当社の欠かせないパートナーになっていきます。今年度は新事務所も完成し、企業理念を体現するためさらに学びと実践を加速させると思っています。今後のますますの発展を期待しています。

撮影後記



株式会社リビングデザインの森社長を飯塚にお訪ねいたしました。2023年8月に完成したばかりの、新社屋です。社内がまさにショールームになっており、お客様が手確かめながら打ち合わせをする事でスムーズに打ち合わせが進行いたします。

企業理念の「リノベーションを通して関わる人を全て豊かに」に基づいて地域に根付いた組織運営を実践している38歳の森社長です。

森社長ガンバレ!!!

素敵な写真が撮れました。感謝申し上げます、ありがとうございました。

撮影・文/株式会社コスイメージ 富谷 正弘（玄海支部）

“デザインQR”とは？

月刊同友675号より、表紙・自立型企業づくり・アンケートは、絵柄付きのQRコードを採用しています。スマートフォン等で読み取る場合は、従来の白黒QRコードと同じアプリを使って読み込むことができます。*QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です。

実際に入会してみると例会に行っても男性ばかりで馴染めなかったです。女性だからと舐められているようなこともあって、もうやめようと思っていました。

光本 私が正式入会したのは2004年です。実は独立する前の会社の時に社長が同友会に入ってたんですね。なので同友会は2000年ぐらいから知ってて、ときどき例会にもゲストで参加しました。入会当時はお金に苦労をして、社員が3人とパートが10人ぐらいで切り盛りしていたんですが、事業がちょっと右肩上がりになってきた時に気づいたのが、人が全然育っていないことでした。創業期は余裕がなくて、求人して人



それからずっと役が回るようになってきて、未だに役をさせていた方がいいんですけども、私がこうやって同友会にいるのはその方や私の退会を引き留めてくれた当時の支部長のおかげです。

「社員はパートナー」って考え方も当初は何でって思っていたんですけども、やっぱり勉強させていただく度に、そういうことが判ってきたというのは、同友会のおかげだなと思っています。

光本 採用に苦労していたときに同友会から共同求人のお知らせが1枚、FAXで流れてきたんですよ。困ってましたので求人と言う字にもすごい反応するんですね。(笑)これだと思って行ったのが共同求人委員会でした。

どんなことをしているのかを聞き終わって帰ろうとしたら「ちょっと待って。今から委員会があるよ」と言われたいな。私に委員会に入った覚えがないのに、なんかし崩しで委員になってみたい。そこから私の採用と共育のライフワークが始まりました。そこからもう19年、いまでも毎年やっています。第1期で採用した当時独身だった社員が結婚して産休育休取って子ども産んで戻ってきて、時短勤務からフルで働くようになって1期生がいるんですが、そういうご縁を通して人を雇うことの手法だけじゃな

が入ってきて教育する術はないし、すぐに即戦力にしたいけれどそこに無理が生じて退職したりをくり返してしまいました。せっかく右肩上がりになっていっているのに、これだとチャンスを潰してしまうようになって感じてました。

みなさんの現在のご活躍からは想像できないような話ですね(笑)。同友会での学びなどを通して今につながる転機はあったのですか？

花田 入会して1年ぐらいでもう辞めようと思っていたんですが、鐘川さんから「役員やりなさい。とりあえず副ブロック長から」って。私が辞めないように役をさせようとするんです。無理って言っても「大丈夫。運命だから受け入れなさい」ってね。

そういうしながら色々役員をしていくときに「県の共育委員会にも入りなさい」って勧められて入ることになって。その時に知り合ったのが彩(いろどり)の林田さん(東支部)です。これが大きな転機でしたね。私は「共育(ともそだち)」という同友会の言葉が大好きで、経営者は社員を引っ張っていかないとイメージがすごあって

い、一緒に働く人の大切さを同友会で学びながら活動してきました。このことが私の同友会との本当の出会いだったと思います。いま思えばその時に共同求人からのFAXが来たことに本当に感謝です。これまで自分が考えられなかった新卒採用が、こうやって来るんだっていうのが、そこからすごく分かった分かったからです。



みなさん同友会での仲間や委員会との出会いが大きな転機になったことが納得できるお話でした。話題を変えて女性の活躍について福岡同友会が取り組むべきことについてお話しいただけますか？



私には無理だと思っていただけですけど、共に育つんだよって。だから別に引っ張っていくじゃなく、社員と共に自分も育てばいいという考え方。これが入りやすかったんですよ。今から勉強すればいいんだという気持ちになりました。結果的に同友会の在籍年数を伸ばしましたね。

笠置 私も入会してすぐにもう辞めようと思っていた時に、その時の支部長が博多支部で女性部を立ち上げると、それで役員になってくれないかと言われました。「私辞めます。同友会

光本 先日、理事会での監事発言で言わせていただいたのが、この会場に女性性は二人しかいないと、入江支部長(福友愛支部)と私だけ。この状況をどう思いますかと、ぜひ役員の方が女性の役員を育ててほしいって、言わせてもらいました。経営者はやっぱりどうしても男社会なので、男性の意識改革が要るかなと思いますね。

笠置 私もそう思います。まず支部の中で段階的に育てていただきたい。ブロック長、副支部長、支部長、そして県に送り出していきたいですね。いきなりはできませんので。そうやって、今の支部長、副支部長が女性の経営者を育てていただきたいなと思います。女性というのは、アイデアや物の考え方が男性と違いますし、そういう意見をお互いに出し合っていければいいと思います。

花田 私が支部長になった時は、女性会員にできるだけ役になっていただきたい、副ブロック長も1人は女性を入れてほしいとお願いしました。その経験からも、女性の意見を取り入れながら支部を運営することは、いろんな人の意見を反映させるのに必要なことだと感じました。

は冷たいところで女性経営者の友達もできないし」って言ったんです。まあそう言わんと2回、3回と説得されてこんな私にここまで言ってくれるんやったらもう一回ちょっと留まってみようかと思ったのが運の尽きでした(笑)。



そして女性部の初代委員長になられた方が経営指針書の勉強会をされていたんですね。当時の私は経営指針書って何よって感じて全く分からなかったんですけども、もう本場に0からスタートして根気よく教えていただいて、何とか経営指針書の発表会を例会でやりました。

男性の意識改革で言うと、今年の女全交に参加した人数は、男性が4割強くらい。女性と男性の参加ってほぼほぼ半々だったんですよ。男女問わずに一緒に準備してきた経緯もある。そういう点ではこの女全交も大きな転機になったのではないかと思いますか？

光本 女全交の取り組みを通して何か一つ立ち上がったという感じがしましたね。女性の交流というのではなく、一緒にというテーマも良かったと思います。

笠置 女全交が素晴らしいからって、これを更に活かしていくことが大切だと思います。同友会を活性化していくためにも、女性経営者たちが盛り上がりがないとですね。

花田 女全交に連れて来ていた東京同友会の女性部の方に聞いたんですよ。「何でこんなにみんな集まるんですか」って。そうしたら「だって楽しいもん」って。女性同士でしゃべったり、いろんなことをするのが、楽しいから来てるって言ってました。そういう女性目線のグループって大事かも。なぜかという、ただでさえ数の少ない



お客様の期待値を 高めるために 新社屋が物語ること

女性が単独で意見言ってもあんまり通らない。でも、それが束ねて言うことによって、形になっていくのかなと思うと、女性経営者の集まりの中から発言が出るということが大事かもしれないね。

女性経営者の集まりについて、男女区別なくつてのとはまた違った視点ですね？

花田 この歳になると、女性経営者だけで集まって話す気安さというか、例えばグチでも何でも言いやすくなる、敷居が下がるというのはありますよ。

笠置 私が県の女性部委員長した時に、女性だけにしか話せない悩みや、経営者としての悩みがあるので、そういう女性に焦点を絞って委員会をやっていた。自分自身もいろんな悩みを共有したいというのがありまして。だから女性同士というのは私もほっとします。

光本 東支部は「梅香る会」という女性の会があり、それがちょっと近いかもしれない。夜はなかなか集まらないのでお昼を一緒にしたり、最近ではインボイスの勉強会をしたりして。結構集まっていたと思います。そうするとですね、周りから女性の会員がだんだん

増えてきて、結構ちやほやされるの「梅香る会」は(笑)。

花田 「梅香る会」がすごくいいということ、それを参考に西支部も「フローラル西」という女性の会があるんですよ。そこまでしっかりしていないですけど年に1〜2回動いています。とても楽しい、元気をもらえる会です。

なるほどですね。そういう会が自然発生的に出てくるのを待つんじゃなくて、例えば県の女性部委員会ですら発信していくことも、女性経営者の方々や同友会の活性化につながっていくかもしれませんね。

光本 各支部で女性部会じゃないけれど、女性ブロックみたいなものにつながるいいですね。

笠置 支部でそういう活動が活発化していくと、その支部が活性化していくと思います。「梅香る会」なんて例会を担当されたら100人ぐらい集めてありましたよね。

光本 笠置さんのように支部を超えて来てくださる方も何人もいらっしゃるのですね。そうすると周りの男性経営者はやっぱりちょっと一目置かざるを得ないっていうところにもなりますね。

うところにもなりますね。

花田 傾向と対策じゃないですが実際に見てみると女性役員が多い支部は賑やかに活性化していますよね。

笠置 どうしても男性だけだと消化型になりやすいのかな。しないといけないから何かしようやと話し合うんですが、女性もいるとお互いに意見を出し合うから、だから活性化していくのではないかなと。

花田 なんかも楽しみ見つけたくなるしね。どうせやるんやったらそれが価値のあるものになりたいと思います。

男性ばかりの広報部には耳が痛い話ですね(笑)。では最後に読者(会員)のみなさんにひとことお願いします。

光本 男性女性に関係なく同友会の仲間と芯から親しくなるって大事だと思います。私が支部長のときに三役で積立をしてベトナム旅行へ行きましたよ。それが楽しみでみんな集まりましたし、関係性が深くなるってことは男女の関係なんてなくなりますよね。

笠置 それ本当に大事です。いち人間として付き合えるっていうのは大切なことではないかなと思います。私も支部長の時に支部長会を作っていたんですね。毎年集まって韓国旅行へ行っていました。だから結

束しますよね。もちろんみんなと仲良くするし、役が終わったら終わりではなく、そのお付き合いが後々まで続いていくと、同友会の活性化になると私は思っています。そのためにも、積極的に役を引き受けていただきたいと思っています。

花田 私は少し違った角度から、私こそ1カ月で全国行事に2つぐらい出たのですが、全国の集まりに行くのも今はZoomで参加できますから、出席してほしいと思います。支部よりも県、さらに全国と言うとだんだんと志が高くなっていきます。勉強しようと思ってる方たちが集まっていますから。すごく学びが深くなると思います。

南 女性経営者お三方の目線で同友会のこれまでの功績とこれからの活動に向けてのヒントが得られる座談会になりました。ありがとうございます。



本社オフィス

株式会社リビングデザイン 代表取締役 森美朗 氏【飯塚支部】

お客様の声に耳を傾けプロとしての提案をしていく(株)リビングデザインの森美朗さん。計画より早めに自社社屋を建設し、積極的に戦略展開しています。

取材／広報部
文章／菅原 弘(東支部)
写真／富谷正弘(玄海支部)



ワクワクをカタチに
今回の取材は、飯塚市の国道200号沿いにひと際シックな新社屋を構えた(株)リビングデザインをお訪ねしました。代表取締役の森美朗さんは「住宅・店舗のリノベーションをしています」と話し始めてくれました。

一般に「リフォーム」とは、老朽化した建物を新築に戻す工事を指します。いわゆる「住む人の困った」の解決です。一方、「リノベーション」は住まいの性能を向上させ価値を高める工事を指します。いただいた名刺には「ワクワクをカタチに」と謳っています。

創業までの経緯

森さんの父親は訪問販売など営業職をしており、30代の時に「森住建」という屋号で個人事業者としてリフォーム業を営んでいました(現在でも現役)。
森さんは1985年、飯塚市に生まれます。学校を卒業して建築会社に就職します。22歳の時、仲間を誘われて広告会社に転職しました。フリーマガジンHen(ヘン)の立ち上げに携わります。

「筑豊に変化を起こしたい」を理念に活動してきましたが、3年ほどして会社を辞めてしまいました。

父親の「森住建」を手伝いながら就職先を探そうと考えました。しかし「リフォーム」という仕事がお客様に大変喜ばれることで、やりがいを感じるようになっていきました。30歳の時、10坪ほどのテナントを借りて「リビングデザイン福岡」を創業させます。「この頃はテリトリを福岡県全域と考えていたので福岡と付けました」。やがて筑豊に営業エリアを絞って（株）リビングデザインを設立させました。33歳の時です。

自社施工比率を高くする

創業当時はほぼ100%が下請けでした。元請け業者や不動産会社にお中元・お歳暮を届けて、協力業者会に出席していれば仕事ももらえました。「自社で仕事を見つけることもなく楽だなど思いました。しかし元請け会社の倒産で引っ掛かり（負債）が出たり、不動産会社の担当が変わると仕事が来なくなったりしました。これでは安定した売上げが見込めないと危機感を覚えるようになりました。

また、かつて協力をお願いした大工さんがお客様に対し「それはできない」な

地元へ会社を構え看板を掲げることには信頼の証です。

会社を構え看板を掲げることには信頼の証です。ブランド戦略の一環として、ロゴマークを作り、コーポレーションカラーは元気をイメージするオレンジとしました。営業車やユニフォームも統一性を図りました。

社内はフロアや壁、住宅機器が展示場の役割をしていました。「住宅機器のメーカーショールームは陳列となっていていますが、工務店として建材などのデザイン・柄を見せるだけでなく床と壁の収まりやコーディネート、出隅・入り隅の具合、窓の採光や枠を実際に見て触れて感じてもらいたいと思ってつくりました。

そしてもう一つの思惑があります。



施工例としての壁見本

リノベーションをしていただいたお客様には、アンケートを取っています。プリペイドカードを差し上げている効果もあり回収率がとてもよく、今後の自社の仕事に役立っていると言います。また、年末にはご挨拶として、予定を記入できる大きめの壁掛けカレンダーを持参し定期訪問しています。



各種の会員証

どと平気で口にしたたり、現場でタバコの吸い殻を捨てたりするなど不安を感じ始めました。

違う業者でしたが、孫請けの職人がお客様にはロクな挨拶もせず下請け業者（その人にとっては仕事をくれる人）には最敬礼していたのを目のあたりにしました。「それは違うだろう」と心の中でツッコんでいました。

「そこで元請け体制にシフトし、さらに自社施工の比率を高くしていきま

建築は大工工事・水道設備工事・電気工事が大きなウエイトを占めます。現在社員は4名で、そのうち1名が総務担当の女性で、3名がオールラウンドプレイヤーです。

そのメリットとしてお客様の意向に沿った、またはそれ以上の仕事ができる

「これから新卒採用を始めようと考えています。技術はともかく人材育成をこれから始めるためにも新卒採用が重要だと同友会で学びました。そして社内の整備が必要で、就業規則の見直し、人事評価制度の導入などやるべきことが出てきました」と話します。

お客様の期待値を上げる

「リノベーションというのは、まずはカタチが見えないものに対して、お客様が期待を寄せてお金を払っていただく仕事です。その期待値を上げなければなりません。私どもは今まで積み重ねてきた実績、経験、お客様の声を参考にプロとしての最高の提案を心掛けていきます。」

「これから新卒採用を始めようと考えています。技術はともかく人材育成をこれから始めるためにも新卒採用が重要だと同友会で学びました。そして社内の整備が必要で、就業規則の見直し、人事評価制度の導入などやるべきことが出てきました」と話します。

という事です。デメリットとして、同時に多くの現場を抱えられないことを挙げました。自社施工なら当然責任感も強くなります。クレームが少ないのも特長です。

同友会との出会い

森さんが広告会社に勤めていた頃は、異業種の方との交流が多かったと言います。それが創業し建築業界に入ると同業者ばかりとの付き合いとなりました。これでは情報収集や人脈作りができないと物足りなさを感じていました。すると「同友会というのがあるよ」と聞いて、その門を叩くことにしました。

同友会に入会してすぐに「あすなろ塾」と「経営指針作成セミナー」を受講しました。

策定した経営理念は次の通りです。

「リノベーションを通して
関わるすべての人を豊かに」

すべての人とは、お客様・取引業者・社員とその家族を指しています。

新社屋建設

10年ビジョンには「自社の社屋を建てる」とありました。計画より前倒して

【施工事例】



(戸建て/リノベーション/飯塚市O様邸)

売上げを他社に依存しない会社

飯塚本町商店街の空き店舗を一枚丸ごと借りて、区画分けして、カフェ等に転貸（サブリース）しました。その際に集まったメンバーで会社をつくりました。その名も株式会社スキマニヤモリ。商店街の空き店舗をリノベーションして、商店会費や改修費を合わせていただくという仕組みで地域貢献の活動をしています。

取材の最後に森さんの考える自立型企業についてお伺いしました。「売上げ

建てています。森さんはこれにはかなりの思い入れがありました。

「飯塚でリノベーションと言えは「リビングデザイン」と言われるようになりたいと考えています。それにはまず自社で社屋を構えることでブランディング（信頼の向上）になると考えました。立地も目立つ国道沿いにしました。

元請けとなるためにはお客様を自社で探さなければなりません。同社では、現在飛び込み営業はしていません。口コミ、リピーターなどとともに、ホームページを利用していきます。「ネットによるお客様の評価というのが重要な決め手になっていきます。」

実はお客様はリノベーションを「どこに頼むか」「いくらかかるか」を知りたいと思っています。またお客様との関係は、工事をして終わりではありません。そこが長い付き合いのスタートです。地元



本社外観

を他社に依存しない会社でしょうか。お客様と直接お付き合いし、工事は自社で育てた職人で行うという内製化を高めていく会社。会社組織体制としては、社長がいなくても稼働していく会社でしょうか。これは今から体制を整えていきたいですね。どの業界でも職人不足が叫ばれています。いずれ職人育成学校のようなものがつくられたらいいなと夢を抱いています」と話してくれました。

取材協力ありがとうございます。

株式会社 リビングデザイン

創業 2015年
住所 飯塚市太郎丸779-1
電話 0948-21-5563
従業員数 2名
事業概要 住宅のリフォーム・リノベーションを行っております。



https://living-d-f.com



1ヶ月に1回、自社経営と真剣に向き合う時間

ワンシート作成会の流れ
 ワンシート作成会は、月に1回、全6回のスケジュールで行っています。経営指針書を作ったことがない会員や、新しい事業を考えている会員が、経営指針書の作成に触れる機会として気軽に参加できるように、和気あいあいとした雰囲気で行っています。
 各回はベテラン会員による項目の説明のあとにワークショップという流れで、ワークショップでは用意されたお菓子やコーヒーを楽しみながら、会員同士がアドバイスや他の参加者の意見を聞くことで、リラックスしながら自分の事業と向き合うことができます。



懇親会は自社の課題を考える絶好の機会

懇親会で次回への意欲に
 ワンシート作成会後の懇親会は任意参加ですが、より核心に迫った話になったり、お互いに励ましあって次回までの課題を見つけたりと、懇親会ならではの本音のトークが参加者の次回への参加意欲になっています。



ワンシート作成会の表彰式

2022年度 経営指針ワンシート発表会



今回がダメでも大丈夫
 ワンシート作成会の最終日は、全員が自社のワンシートを発表し、決意表明を行います。初めて発表を終えた会員は、作成したワンシートを額に入れて、晴れて卒業です。
 半年という期間の中で、残念ながらどうしてもワンシートを埋めることができなかつた会員は次年度に再度チャレンジできます。また、一度ワンシートを埋めた会員も、さらなるブラッシュアップのために次年度に参加するケースもあります。
 おだやかな雰囲気の中で仲間と一緒に自社の経営と向き合うことができるため、経営指針の作成に向けた入口として人気のある勉強会です。

他支部からも参加
 ワンシート作成会は西支部で実施されていますが、Zoomを通して愛媛同友会との共同開催も実現し、他県の同友会にもワンシート作成会は広がっています。
 同友会の基本理念である経営指針書の作成にチャレンジできる機会も、ワンシート作成会なら気負わずに作るすることができます。



Zoomでの参加もOK

記事作成・南史聡
 (未来文書株式会社/西支部)

強靱な経営体質を作る各支部の取り組み

西支部 ワンシート作成会

西支部では、経営指針書を1枚のシートに描くワンシート作成会を実施しています。半年という期間をかけて自社の経営計画と向き合う時間を作ります。



ワンシートとは？



ワンシートというのはA3サイズの用紙に経営計画をまとめたもので、経営理念、基本方針、個別方針1、個別方針2、経営計画、社長の心構えの6つの枠が設けられています。この枠に自社の理念、方針、計画を落とし込んでいくことで、簡易的な経営指針書を作成することができます。

〇〇年度経営方針

1. 経営理念	3-1. 個別方針	3-2. 個別方針
2. 基本方針	4. 経営計画	5. 社長の心構え

1枚のシートに自分の思いを詰め込みます

入ってますか？労働保険

～11月は労働保険未手続事業一掃強化期間です～

労働者(パート・アルバイトを含む)を1人でも雇っている事業主は、労働保険(労災保険・雇用保険)に加入することが法律で義務付けられています。

まだ、加入手続きがお済みでない事業主の方は、所轄の労働基準監督署・公共職業安定所(ハローワーク)で加入手続きを行ってください。

加入手続きの詳細は、福岡労働局ホームページをご覧ください

福岡労働局総務部労働保険徴収課
TEL 092(434)9835



2023年度 第5回 理事会だより

開催日時 2023年9月27日(水) 14時30分～17時16分
会場 八重洲博多ビル ホールA
出席数 35名(出席率87%) 議長 山田 秀樹(副代表理事)

○会員増強

入会16名、退会6名(うち未収退会1名)、休会1名が承認された。9月承認会員数2,296名。今年度末の目標達成に向けてG討論を行った。

○総務財政室より

ファイルサーバー利用に関するガイドラインを作成した。利用上の注意事項を周知したい。

○創立60周年記念実行委員会

60周年記念誌が間もなく完成する。同友会を理解するツールでもあるため支部等でもぜひ活用いただきたい。10月末頃に発送予定。2030ビジョンも製本し、あわせて送付する。

○会内のハラスメントについて

会内でハラスメントが発生し、相談窓口に申し立てがあった。申立人と相手方を含めて話を聞き、顧問弁護士も同席のうえ対処法を検討した結果、相手方へ3ヶ月間の活動停止を通知した。3月に研修本部にてハラスメント講習を実施予定。

○会員企業の動き

【経営革新計画承認企業】

- 2023年8月(県10件/うち同友会会員企業1件)
アトラス化成(株) 穂坂 昌之氏(東支部)
<テーマ>新開発の金属溶射射出成型による錫製品の量産化とBtoC事業への参入による集積改善
※累計で福岡県全体では9,532件、会員企業は延べ556件

【表彰・事例紹介など】

- 福岡県 人づくり・県民生活部 男女共同参画課 女性活躍推進室
「『進化する企業へ』～今こそ、『多様性を認め合い、人を活かす経営』の実践を～」
企業の取り組み事例集に紹介
・企業の成長を支える人づくりのために
⇒タカハ機工(株) 大久保 泰宏氏(飯塚支部)
・働きたい人が働きつづけられる環境づくりのために
⇒(株)プロデュース 中原 亜希子氏(ひびき支部)
⇒宮田織物(株) 吉開 ひとみ氏(福友和支部)
・多様な人材が活躍できる組織風土づくりのために
⇒(有)Miyamaコーポレーション 降旗 美香氏(福友愛支部)

★理事会議事録の詳細はe.doyuの「文書管理」にある「理事会議事録」にてご覧ください。

同友すばる委員会と 福岡地区会との懇談会

日時 2023年8月22日(火) 18:00～19:00 会場 同友会会議室



中村 高明氏(のおがた支部)



高田 英一氏(福友和支部)

同友すばる委員会、福岡地区会から約30名の会員が集まり、(株)サワダの花田理恵福岡地区幹事長の司会進行で始まり、同友すばる委員長の高田英一氏により、会の趣旨説明と、組織の説明(60歳以上の会員が対象)や、中小企業において事業承継が重要な課題になっているこ

となど、全地区をまわり啓蒙活動を進めている報告がありました。その後、出席者全員の自己紹介を行いました。

中村高明氏からは、「ベテラン会員が役員などを修了した後、退会する傾向があり、同友会にとってはもったいない事である。」と指摘がありました。また、自社の承継事例に触れ、承継後は伴走支援に徹し、「経営については一切口出ししない」などの、体験報告がありました。

さらに「事業承継塾」の今後のスケジュールやテーマについての説明がありました。一方、交流部会では、「博多の文化を知る、仲間との懇親会」を目的に活動を行っている旨、白石静馬氏から紹介がありました。

すばる委員のメンバーは、天真爛漫でエネルギー豊かな方が多いように感じます。弁舌鮮やかな途中で固まり「言いながら、忘れていく」というフリーズに、笑いが溢れました。

ぜひ、60歳以上の会員の皆様、e.doyuを定期的にチェックし、すばる委員会で「事業承継」や、博多の文化を学びながら、仲間との交流を深めませんか？

報告 株式会社システム企画
倉本明彦(南支部)



4 土 13:30~17:00 ソーシャルビジネス委員会 11月勉強会

九州DIYリノベWEEK2023
~10周年記念全員集合シンポジウム~@久留米

- 石橋文化会館
久留米市野中町1015 ☎0942-33-2271
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 池本 洋一 氏 株式会社リクルート SUUMO 編集長
- Yoon Zoosun 氏 国立忠南大学 建築学科 教授

9 木 18:00~20:30 福博支部 11月例会

我が社の未来を築く
働き方改革の役割

- 天神チクモクビル 大ホール
福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
- 奥村 正博 氏 奥村社会保険労務士事務所 代表者(福博支部)

11 土 14:00~17:00 同友すばる委員会

事業承継塾第4講
M&A自社を譲渡

- 電気ビル共創館カンファレンスB
福岡市中央区渡辺通2-1-82 ☎0120-222-084
- 田浦 通 氏 株式会社シティーライン 会長(かすや支部)

15 水 18:00~20:00 東支部 11月例会

未知(新たな)の世界への挑戦
強い会社になる為に、企業の強靱化に向けて
2本・3本の矢を

- WITH THE STYLE FUKUOKA
福岡市博多区博多駅南1-9-18 ☎092-433-3900
- 高倉 拓馬 氏 株式会社協和設備工業 代表取締役(東支部)

15 水 18:30~20:30 西支部 11月例会

同友会西支部を知る会
自社のこと、そして同友会で学び成長したこと

- 天神ビル11号会議室
福岡市中央区天神2-12-1 ☎0120-323-920
- 坂本 優 氏 株式会社坂本エステート 代表取締役(西支部)
- 桑原 由美子 氏 NPO法人 発達障がい者就労支援ゆあしっぷ 理事長(西支部)

15 水 18:30~21:00 福友愛支部 11月例会

社員と共に作る会社の未来像
~経営指針実践における10年ビジョンの存在価値~

- 博多アーバンスクエア 福岡市博多区店屋町1-31
☎0120-336-440 ※定例の会場と異なります
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 吉武 鑑泰 氏 株式会社良久良久 代表取締役(有明支部)

15 水 18:30~21:00 田川支部 11月例会

魅力を感じ自主性を持って
参加したいと思える会づくり
田川支部組織の在り方を見つめ直そう

- 県立大学 中セミナー室 田川市伊田4395 ☎0947-42-2118
- 森 慎吾 氏 株式会社アール・ツーエス 代表取締役(福友和支部)

17 金 18:30~20:30 久留米支部 11月例会

SDGs×社員共育×企業経営

- ハイネスホテル久留米
久留米市天神町1-6 ☎0942-32-7211
- 井上 真一 氏 株式会社大匠建設 代表取締役(博多支部)

21 火 18:30~21:00 博多支部 11月例会

マインドリフォームで会社が変わる
~今の自分に必要なものは何か?~

- 天神チクモクビル
福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
- 森 慎吾 氏 株式会社アール・ツーエス 代表取締役(福友和支部)

21 火 18:20~20:50 福友和支部 11月例会

強い想いと明確なビジョンが未来を変える

- アクア博多A会議室 福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-287-9500
+WEB会議システム「Zoom」(ZoomミーティングID等は別途連絡)
- 三嶋 泰代 氏 キークレア税理士法人 代表社員(福友和支部)

21 火 18:30~20:40 玄海支部 11月例会

離島の高校生の就職事情を通して
自社の就職採用について見つめなおしてみよう

- 天神チクモクビル 福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
- 前田 洋子 氏 長崎県立志岐商業高等学校 進路指導課

21 火 18:30~21:00 北九州支部・ひびき支部 合同11月例会

人を生かす経営とは
同友会理念である「人を生かす経営」
その本質を実体験から学ぶ!

- コムシティ大会議室
北九州市八幡西区黒崎3-15-3 ☎093-641-9360
- 貞兼 朋記 氏 株式会社ルックルック 代表取締役(南支部)

21 火 19:00~21:00 大牟田支部 11月例会

あゆみの歩み
~できっこないをやらなくちゃ~

- 大牟田文化会館第4会議室
大牟田市不知火町2-10-2 ☎0944-55-3131
- 西田 鮎美 氏 代表者(大牟田支部)

24 金 18:00~20:30 筑紫支部・かすや支部 11月合同例会

労使見解の考え方と理解(仮)

- リファレンス駅東ビル
福岡市博多区博多駅東1-16-14 ☎0120-46-0058
- 田浦 通 氏 株式会社シティーライン 会長(かすや支部)

24 金 時間未定 りょうちく支部 11月例会

りょうちく支部会員から学び、
自社の事業領域を考える!

- 有限会社大坪物産会議室
久留米市北野町大城866-3 ☎0942-78-3871
- 久富 大和 氏 大和農園 代表者(りょうちく支部)

新会員フォローアップセミナー

- 24 金 18:00~21:00
同友会会議室
福岡市博多区吉塚本町9-15 11F ☎092-686-1234

28 火 18:30~20:50 南支部 11月例会

働き甲斐のある会社をつくるには。
~社員が主役のチームづくり~

- アクア博多 A会議室
福岡市博多区中洲5-3-8 ☎092-263-4770
- 市丸 皓士 氏 有限会社ファイン 代表取締役(ひびき支部)

28 火 18:30~21:00 有明支部 11月例会

中小企業のための落語会
桂伸衛門 真打独演会

- 柳川市民文化会館「水都やながわ」
柳川市上宮永町43-1 ☎0944-73-7777
- 桂 伸衛門 氏

28 火 18:30~20:30 企業連携推進委員会 FAST11月例会

未来のお金をデザインする

- 天神チクモクビル 小ホール
福岡市中央区天神3-10-27 ☎092-715-3250
- 花城 大地 氏 株式会社アーリークロス 後継者(博多支部)

29 水 19:00~21:00 青年支部 11月例会

激動の世の中を生き抜く為の
クロスSWOT分析の勉強会

- 未定
- 永井 雅久 氏 エイキュウリンクス株式会社 代表取締役(南支部)





月刊

同友

11
月号
2023

vol.688

会員 Pick up!

玄海支部アウトドア例会4年ぶりに開催!

撮影・文/株式会社ココスマイージ 富谷 正弘(玄海支部)



大分県玖珠町三日月の滝公園にて玄海支部アウトドア例会が行われました。参加者は47名+Dill号(元盲導犬7歳)。三日月の滝公園は筑後川水系の玖珠川のほとりの河畔にあり、宿泊施設もありキャンプもできる自然豊かな所です。

15:30全員集合、同友会3つの目的を全員で大きな声で唱和に始まり、ヨガ教室で心身を整え、お料理の開始です。チーズフォンデュ、アヒージョ、ホイル焼き、西門蒲鉾の天ぷら、BBQとてんこ盛り、ビール、ワイン、焼酎、日本酒とお酒も飲み放題。酔い



玄海支部参加者集合写真

が回るにつれて支部長のギターでフォークソングの大合唱やフォークダンスを踊るやら、大声で歌うやら、経営学を熱く語るやら深夜まで大騒ぎ、幸い玄海支部貸切でしたので、他人さまに迷惑かける事なく夜が更けていきました。支部活動方針『全員参加・全員運営・全員主役』が体现された楽しく学びのある例会でした。支部会員の想いが一つになり、これからの支部活動に前進する玄海支部です。



舛元支部長挨拶



ヨガのポーズ



ゲスト元盲導犬Dill号との記念写真



フォークダンスを踊る会員



ヨガの先生張さん、玄海支部会員です



熱弁を振るう高松さん

あなたの記事でこのコーナーを飾りませんか?

みなさんの投稿をお待ちしています。

投稿方法 | 郵送、メールいずれも可。
表題に「月刊同友 会員からの投稿」とご記載ください。

テーマ | 環境問題や、社会貢献、例会の様子、地域イベントなど、内容は自由です。

送付先 | 郵送/下記「月刊同友」編集部まで
メール/ a_arity@fukuoka.doyu.jp (福岡同友会事務局 有馬まで)

一般社団法人 福岡県中小企業家同友会「月刊 同友」編集部

〒812-0046 福岡市博多区吉塚本町9番15号 福岡県中小企業振興センタービル11階
TEL:092-686-1234 FAX:092-686-1230

[北九州地区センター]

〒802-0001 北九州市小倉北区浅野1-2-39
クルーズ浅野ビル 808号
TEL:093-551-3111 FAX:093-551-3344

[県南地区センター]

〒830-0038 久留米市西町1367-1
祥栄ビル2階
TEL:0942-33-3355 FAX:0942-33-3366



[デザインQR]

今月の「月刊同友」はいかがでしたか?

月刊同友では、皆様からのご意見・ご要望を募集しています。よろしければQRコードからアンケートにお答えください。

約4分で回答できます 回答締切 11月30日(木)

環境を守るため森林認証紙を使用しています。